

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
I-1- (1)-① 仕事と 子育て の両立 支援	1	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライ フ・バランス 推進事業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働 き方や生き方を選 択でき、活力ある 豊かな社会を実現 するため、「北九 州市女性活躍・ ワークライフバ ランス推進協議会」 を中心に、企業等 の取組支援などを 行うとともに、企 業や地域での様々 な活動と連携しな がら仕事と生活の 調和（ワーク・ラ イフ・バランス） の推進を図る。	仕事と生活の調 和が図られてい ると感じる人の 割合	68.5% (R1年 度)	目標 H25年度の水準より増加	R1年度比 増加	R1年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	7,070	8,005	増額	10,700	大変 順調	仕事と生活の両立が図られて いると感じる人の割合が上 昇するように、北九州市女性 活躍・ワークライフバランス 表彰の実施やワーク・ライ フ・バランス推進に関する企 業へのアドバイザー等の派 遣、各種セミナーの開催等、 企業への支援を継続して実施 するとともに、事業の効果的 なPRを図る。 また、本市全体の働き方改 革の機運を高めるため、経営 者・管理職等によるワールド カフェ等を開催する。	市内企業の女性活躍やワー ク・ライフ・バランスの推進 については、「北九州市女性 活躍・ワークライフバランス 推進協議会」を中心に、仕事 と生活の調和が図られてい ると感じる人の割合が今後もさ らに上昇していくよう、企業 への各種支援やイベント開催 等を通じて、ワーク・ライ フ・バランスに関する意識改 革を一層推進するほか、働き 方改革の機運を高めていく。 また、事業の実施にあたって は、より多くの企業の関心を 集めるよう効果的なPRを行 う。
	2	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推 進事業	女性 活躍 推進 課	働く女性・働 きたい女性が、各 々の希望に応じ、 その個性と能力を 十分に発揮し輝け るよう、キャリア アップや就職、創 業支援、子育てと の両立支援等、幅 広く女性の就業を 支援するほか、 ウーマンワークカ フェ北九州の更な る周知広報と新規 利用者の獲得を図 る。	女性の就業率 (25～44歳)	65.9% (H22年 国勢調 査)	目標 70 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	73% (R5年 度)	継続	11,455	10,250	減額	12,750	順調	北九州市立男女共同参画セ ンタームーブから、一部事業 を移管する等、事業内容を見 直し、より幅広い内容で女性 活躍の支援に取り組む。 【指標廃止の理由】 事業の組み替えにより、当 事業内で取り扱わなくなった ため。	女性の職業生活の拠点とな る「ウーマンワークカフェ北 九州」を運営し、働く女性の スキルアップやネットワー ク化に取組むほか、女性が創 業しやすい環境づくりや就職 支援、子育てとの両立等、支 援内容の充実化を図る。
					ダイバーシテ ィ行動宣言等登 録・届出企業 (累計)	597社 (H26年 度)	目標 1,200 社	単年度目標 なし			1,600社 (R6年 度)								
					※指標廃止		実績 1,474 社												
							達成率 122.8 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標		
II-3-(2)-① 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	3	⑤ ⑧ ⑩	北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム推進事業	女性活躍推進課	女性職員の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進は一体的に取組みを推進することにより相乗効果が高まるため、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画「女性活躍推進アクションプラン（第2期：平成26年度～30年度）」と次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画「北九州市職員ダイバーシティ推進プログラム（平成27年度～31年度）」を整理・統合し、令和元年5月に「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を策定した。組織の持続的な成長と多様化する市民ニーズへ対応するため、性別にかかわらず活躍できる組織風土を醸成し、全ての職員が育児や介護等のライフスタイルの変化に応じて柔軟な働き方を選択することで、いきいきと働きがいを持って活躍できる職場を目指す。	女性役職者（係長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）	17.6% (H30年度)	目標 単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	23% (R5年度)	実績 18.0 %	達成率 —	継続	6,768	6,608	維持	11,050	順調	子どもが生まれてからの働き方、暮らし方、家事・育児の協力体制づくりを支援するため、結婚・子育て期の職員（男性、女性、パートナーそれぞれ）を対象とした研修を実施し、イクボスとの相乗効果による男性の育児休業取得率向上と職員の仕事と家庭の充実を図り、更なる女性活躍の推進を図る。	順調	ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる職員の割合や、両立しながら新たな業務等にチャレンジしたいと思う職員の割合が更に上昇するよう、男性の育児参加促進や「イクボス」実践など、令和元年5月策定の「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を着実に実施する。 男女共同参画社会の形成の推進にあたって効果的な取組を実施するため、市民のニーズ等を踏まえながら講座などの事業内容の見直しに取り組む。 「男女共同参画フォーラム in北九州」や「男女共同参画広報啓発事業」の推進により、市民に対する広報活動を効果的に実施する。 「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、R2年度末にレディスの用途廃止を行うにあたり、就職支援等一部の講座については、引き続きムーブやウーマンワークカフェ北九州において実施する。
女性管理職（課長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）	13.6% (H30年度)	目標 単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	15% (R5年度)	実績 13.2 %	達成率 —															
部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」	88.0% (H27年度)	目標 90 %	単年度目標なし	単年度目標なし	95% (R5年度)	実績 94.7 %	達成率 105.2 %															
男性職員の育児休業取得率	14.8% (H29年度)	目標 単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	30% (R4年度)	実績 28.7 %	達成率 —															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
4	④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑰		男女共同参画 センター管理 運営事業	男女共同参画 推進課	男女共同参画セ ンター・ムーブに おいて、施設の運 営をはじめ、地域 に根ざした男女共 同参画推進、女性 リーダー育成、就 職・再就職に向け た就業・キャリア アップ支援、ある いは相談事業な ど、様々な事業を 展開し、男女共同 参画社会の形成を 推進する。	性別による固定 的役割分担意識 に肯定的な人の 割合	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	H29年度 の水準 より減 少 (R4年 度)	継続	339,251	251,653	減額	8,950	順調	男女共同参画社会の形成の 推進に向けたイベントや講座 の開催、就業・キャリアアッ プ支援、相談事業などを、事 業計画に基づき実施し、市民 の意識改革に繋げていく。 「公共施設マネジメント実 行計画」に基づき、R2年度末 にレディスの用途廃止を行う が、就職支援等一部の講座に ついては、引き続きムーブや ウーマンワークカフェ北九州 において実施する。 なお、レディス用途廃止に 伴い全体の事業費は減額と なっている。	
							実績	—											
							達成率	—											
						男女共同参画社 会という言葉の 認知度	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	80% (R4年 度)								
							実績	—											
							達成率	—											
5	④ ⑤ ⑩ ⑰		地域における 男女共同参画 推進啓発事業 【男女共同参 画広報・啓発 事業】	男女共同参画 推進課	地域における男 女共同参画の推 進を図るため、地 域で活動している 団体・グループ等 が企画・実施する 広報啓発活動を 支援し、男女共同 参画に関する理 解を深める。	性別による固定 的役割分担意識 に肯定的な人の 割合	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	H29年度 の水準 より減 少 (R4年 度)	継続	3,648	3,470	維持	5,050	順調	「男女共同参画フォーラム in北九州」及び「男女共同 参画に関する広報啓発事業」 を実施する団体それぞれに対 し、イベント内容や参加対象 の幅を広げる工夫を行うよう 引き続き働きかけ、市民への 意識改革に繋げていく。	
							実績	—											
							達成率	—											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
II-3-(2)-② ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	6	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライフ・バランス推進事業	女性活躍推進課	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等の取組支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図る。	目標	H25年度の水準より増加	R1年度比増加	R1年度比増加	R1年度比増加 (R6年度)	継続	7,070	8,005	増額	10,700	大変順調	順調	市内企業の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進については、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合が今後もさらに上昇していくよう、企業への各種支援やイベント開催等を通じて、ワーク・ライフ・バランスに関する意識改革を一層推進するほか、働き方改革の機運を高めていく。また、事業の実施にあたっては、より多くの企業の関心を集めるよう効果的なPRを行う。	
						実績	68.5 %												
7	⑤ ⑧ ⑩	北九州イクボス同盟推進事業	女性活躍推進課	働く人の幸せ、生産性・業績の向上、人材確保に繋がり、その先にある「働きやすいまち北九州」を目指すために、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」を推進し、経営者・管理職の意識改革を図る。	目標		R1年度比増加	R1年度比増加	R1年度比増加 (R6年度)	—	1,500	5,955	その他	10,700	—		北九州市内にイクボスをさらに普及させるための研修会等を引き続き実施する。また、市内企業及び市民に向けて「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」のPRを行うことで、認知度の向上を図り、同盟の拡大を目指す。なお、事業の組み換えのため、昨年度の事業費の比較が困難であり、増減欄を「その他」とする。		
					実績	68.5% (R1年度)													達成率
					目標		単年度目標なし	単年度目標なし	1,600社 (R6年度)										
					実績	597社 (H26年度)	1,474 社												
					※指標追加														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善																								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)																			
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標																		
8	⑤ ⑧ ⑩		北九州市職員 女性活躍・ ワークライフ バランス推進 プログラム推 進事業	女性 活躍 推進 課	女性職員の活躍 とワーク・ライ フ・バランスの推 進は一体的に取組 みを推進すること により相乗効果が 高まるため、女性 活躍推進法に基づ く特定事業主行動 計画「女性活躍推 進アクションプラン (第2期：平成26 年度～30年度)」 と次世代育成支援 対策推進法に基づ く特定事業主行動 計画「北九州市職 員ダイバーシティ 推進プログラム (平成27年度～31 年度)」を整理・ 統合し、令和元年5 月に「北九州市職 員女性活躍・ワー クライフバランス 推進プログラム」 を策定した。組織 の持続的な成長と 多様化する市民 ニーズへ対応する ため、性別にかか わらず活躍できる 組織風土を醸成し、 全ての職員が育 児や介護等のライ フスタイルの変化 に応じて柔軟な 働き方を選択する ことで、いきいき と働きがいを持って 活躍できる職場 を目指す。	両立しながら新 たな業務等に チャレンジした いと思う職員の 割合	目標	75 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	80% (R5年 度)	継続	6,768	6,608	維持	11,050	順調	子どもが生まれてからの働 き方、暮らし方、家事・育児 の協力体制づくりを支援する ため、結婚・子育て期の職員 (男性、女性、パートナーそ れぞれ)を対象とした研修を 実施し、イクボスとの相乗効 果による男性の育児休業取得 率向上と職員の仕事と家庭の 充実を図り、更なる女性活躍 の推進を図る。																				
							実績	69.9% (H26年 度)	—																													
							達成率	—																														
						男性職員の育児 休業取得率	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	30% (R4年 度)										継続	6,768	6,608	維持	11,050	順調	子どもが生まれてからの働 き方、暮らし方、家事・育児 の協力体制づくりを支援する ため、結婚・子育て期の職員 (男性、女性、パートナーそ れぞれ)を対象とした研修を 実施し、イクボスとの相乗効 果による男性の育児休業取得 率向上と職員の仕事と家庭の 充実を図り、更なる女性活躍 の推進を図る。											
							実績	14.8% (H29年 度)	28.7 %																													
							達成率	—																														
						部課長級の多面 評価「イクボス 10か条を実践で きている管理職 の割合」	目標	90 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	95% (R5年 度)																			継続	6,768	6,608	維持	11,050	順調	子どもが生まれてからの働 き方、暮らし方、家事・育児 の協力体制づくりを支援する ため、結婚・子育て期の職員 (男性、女性、パートナーそ れぞれ)を対象とした研修を 実施し、イクボスとの相乗効 果による男性の育児休業取得 率向上と職員の仕事と家庭の 充実を図り、更なる女性活躍 の推進を図る。		
							実績	88.0% (H27年 度)	94.7 %																													
							達成率	105.2 %																														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
9	⑤ ⑧ ⑩	テレワーク推 進事業	女性活 躍推 進課	仕事と生活を両 立する仕組みづく りのひとつとして、 情報通信技術 を活用した柔軟な 働き方の整備を推 進するため、職員 一人一人のライフ ステージや生活ス タイルに合った働 き方を実現できる テレワークの本格 導入に向けて試 行拡充を行う。	在宅勤務の実施 人数	目標		25 人	30 人	100人 (R2~R4 年度累 計)	継続	5,700	5,330	減額	6,400	—	仕事と生活を両立する仕組 みづくりのひとつとして、情 報通信技術を活用した柔軟な 働き方の整備を推進するた め、継続してテレワークの試 行を行う。今後は、感染症対 策や災害発生時等での活用も 含め、限られた職員数の中で 全ての職員が、多様で柔軟な 働き方ができる組織風土を醸 成する。	—	【指標廃止の理由】 事業の目的に直結する指標 に絞るため。		
						実績	—														
						達成率															
					テレワークデイ ズへの参加 ※指標廃止	目標		30 日		参加の 継続											
						実績	—														
						達成率															
10	⑤ ⑧ ⑩	<新>デジタル市役所推 進事業 (テレワー ク)	女性活 躍推 進課	本市職員の業務 効率化及び新しい 生活様式に対応し た多様な働き方を 可能にするため、 必要なモバイル端 末を調達し、テレ ワークの本格実施 に向けた環境整備 を進めるもの。	検討中	目標			検討中	検討中	—	—	77,687	—	6,400	—	必要なモバイル端末を調達 し、テレワークの本格実施に 向けた環境整備を進める。	—			
						実績	—														
						達成率															
II-3- (2)-③ 性別に よる人 権侵害 行為の 根絶	11	⑤ ⑩ ⑪	男女共同参画 基本計画推進 事業(配偶者 等からの暴力 対策事業)	男女共 同参 画推 進課	配偶者や恋人 等、親しい関係に ある人からの暴力 は、重大な人権侵 害であることを誰 もが認識し、暴力 を容認しない意識 の醸成のための広 報・啓発を行う。	配偶者等との間 における「平手 で打つ」につい て、暴力と認識 する人の割合	71.1% (H29年 度)	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	80% (R4年 度)	継続	5,555	5,751	維持	5,050	順調	若年時からの意識改革は重 要であり、小・中学生向け男 女共同参画に関する副読本を 用いた、子どもの頃からの男 女共同参画への意識の醸成を 図る取組や、高校・大学など でのデートDV予防教室、DV啓 発リーフレット配布の取組な どを継続していく。 なお、小・中学生向け男女 共同参画副読本については、 5年に一度の改訂を行うこと とし、男女共同参画意識の醸 成や今後の進路選択に役立て ていただくこととする。	順調	若年時からの意識改革は重 要であり、男女共同参画の意 識の醸成を図る取組や、高 校・大学などでのデートDV予 防教室開催などを継続してい く。
							実績	—													
							達成率	—													

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
II-3-(2)-④ 女性の活躍推進	12	⑤ ⑧ ⑩	北九州市職員 女性活躍・ ワークライフ バランス推進 プログラム推 進事業	女性活躍 推進課	女性職員の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進は一体的に取組みを推進することにより相乗効果が高まるため、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画「女性活躍推進アクションプラン（第2期：平成26年度～30年度）」と次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画「北九州市職員ダイバーシティ推進プログラム（平成27年度～31年度）」を整理・統合し、令和元年5月に「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を策定した。組織の持続的な成長と多様化する市民ニーズへ対応するため、性別にかかわらず活躍できる組織風土を醸成し、全ての職員が育児や介護等のライフスタイルの変化に応じて柔軟な働き方を選択することで、いきいきと働ける職場を目指す。	女性役職者（係長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）	17.6% (H30年度)	目標 単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	23% (R5年度)	実績 18.0 %	達成率 —	継続	6,768	6,608	維持	11,050	順調	子どもが生まれてからの働き方、暮らし方、家事・育児の協力体制づくりを支援するため、結婚・子育て期の職員（男性、女性、パートナーそれぞれ）を対象とした研修を実施し、イクボスとの相乗効果による男性の育児休業取得率向上と職員の仕事と家庭の充実を図り、更なる女性活躍の推進を図る。	市職員の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進については、ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる職員の割合や、両立しながら新たな業務等にチャレンジしたいと思う職員の割合が更に上昇するよう、男性の育児参加促進や「イクボス」実践など、令和元年5月策定の「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」を着実に実施する。また、デジタル市役所として目指す姿の一つである「職員の働きがい・働きやすさを高めることで最大のパフォーマンスを発揮する市役所」の実現に向けて、テレワークの本格実施に向けた取組を加速させる。 市内企業等の「イクボス」推進については、市内企業及び市民に向けて「イクボス」及び平成29年8月に設立した「北九州イクボス同盟」のPRを行うことで認知度の向上を図り、当該同盟の拡大を目指すとともに、引き続き加盟企業との「イクボス」実践を支援していく。 女性の職業生活の拠点となる「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、働く女性のスキルアップやネットワーク化に取組むほか、女性が創業しやすい環境づくりや就職支援、子育てとの両立等、支援内容の充実化を図る。 また、「次世代」を対象にした意識啓発や体験事業を強化し、将来に向けての女性活躍を一層推進していく。
女性管理職（課長級以上）比率（教職員・消防職員を除く）	13.6% (H30年度)	目標 単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	15% (R5年度)	実績 13.2 %	達成率 —														
部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」	88.0% (H27年度)	目標 90 %	単年度目標なし	単年度目標なし	95% (R5年度)	実績 94.7 %	達成率 105.2 %														
男性職員の育児休業取得率	14.8% (H29年度)	目標 単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	30% (R4年度)	実績 28.7 %	達成率 —														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
13	⑤ ⑧ ⑩	北九州イクボス同盟推進事業	女性活躍推進課	働く人の幸せ、生産性・業績の向上、人材確保に繋がり、その先にある「働きやすいまち北九州」を目指すために、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」を推進し、経営者・管理職の意識改革を図る。	仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合	目標		R1年度比増加	R1年度比増加		—	1,500	5,955	その他	10,700	—	北九州市内にイクボスをさらに普及させるための研修会等を引き続き実施する。また、市内企業及び市民に向けて「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」のPRを行うことで、認知度の向上を図り、同盟の拡大を目指す。なお、事業の組み換えのため、昨年度の事業費の比較が困難であり、増減欄を「その他」とする。	—	【指標追加の理由】 事業の組み替えにより、当事業内で取り扱うため。
						実績	68.5% (R1年度)			R1年度比増加 (R6年度)									
						達成率													
					ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業(累計) ※指標追加	目標		単年度目標なし	単年度目標なし										
						実績	597社 (H26年度)	1,474 社		1,600社 (R6年度)									
						達成率													
14	⑤ ⑧ ⑩	テレワーク推進事業	女性活躍推進課	仕事と生活を両立する仕組みづくりのひとつとして、情報通信技術を活用した柔軟な働き方の整備を推進するため、職員一人一人のライフスタイルに合った働き方を実現できるテレワークの本格導入に向けて試行拡充を行う。	在宅勤務の実施人数	目標		25 人	30 人		継続	5,700	5,330	減額	6,400	—	仕事と生活を両立する仕組みづくりのひとつとして、情報通信技術を活用した柔軟な働き方の整備を推進するため、継続してテレワークの試行を行う。今後は、感染症対策や災害発生時等での活用も含め、限られた職員数の中で全ての職員が、多様で柔軟な働き方ができる組織風土を醸成する。	—	【指標廃止の理由】 事業の目的に直結する指標に絞るため。
						実績	—			100人 (R2~R4 年度累計)									
						達成率													
				テレワークデイズへの参加 ※指標廃止	目標		30 日												
					実績	—			参加の継続										
					達成率														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
15	⑤ ⑧ ⑩		＜新＞デジタル市役所推進事業（テレワーク）	女性活躍推進課	本市職員の業務効率化及び新しい生活様式に対応した多様な働き方を可能にするため、必要なモバイル端末を調達し、テレワークの本格実施に向けた環境整備を進めるもの。	検討中	—	目標			検討中	—	—	77,687	—	6,400	—		必要なモバイル端末を調達し、テレワークの本格実施に向けた環境整備を進める。
								実績											
								達成率											
16	④ ⑤ ⑧ ⑩		女性輝き！推進事業	女性活躍推進課	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、キャリアアップや就職、創業支援、子育てとの両立支援等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年 国勢調査)	目標	70 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	継続	11,455	10,250	減額	12,750	順調		北九州市立男女共同参画センタームーブから、一部事業を移管する等、事業内容を見直し、より幅広い内容で女性活躍の支援に取り組む。
								実績	70 %										
								達成率	100.0 %										
						ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計）	597社 (H26年 度)	目標	1,200 社	単年度目標 なし		1,600社 (R6年 度)							
								実績	1,474 社										
								達成率	122.8 %										
※指標廃止																			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
17	⑤ ⑧ ⑩		ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課	女性の就職・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	女性の就業率 (25～44歳)	65.9% (H22年 国勢調 査)	目標	70 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	73% (R5年 度)	継続	32,672	32,514	維持	7,950	順調	延べ利用者数が年々減少傾向にあり、利用者の掘り起こしが必要であることから、親子ふれあいルーム等、身近な場での相談会開催により不安や困りごとを気軽に相談できる機会を増やし、就職活動に向けた一歩を後押しするとともに、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知を図る。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、求職活動が停滞傾向にあるため、ウーマンワークカフェ北九州開設5周年記念イベントの開催を通じてウーマンワークカフェ北九州の周知広報や、女性の就職支援に向けた取組の強化を行う。	
							実績	70 %												
							達成率	100.0 %												
						ウーマンワーク カフェ北九州新 規利用者数	—	目標	4,000 人	3,340 人	3,380 人	3,500人 (R6年 度)								
							実績	3,030 人												
							達成率	75.8 %												
18	④ ⑤ ⑧ ⑩		次世代活躍応援事業	女性活躍推進課	女性の就職促進を目指し、性別による固定的な価値観や生き方を払拭するため、学生の頃から「多様な働き方」などの啓発に取り組む。また、女性の理工系分野への関心を高めることを目的とした女子中学生向けの理工チャレンジ体験プログラムや、女子高校生向けの理工系職業インターンシップ支援にも取り組む。	女性の就業率 (25～44歳)	65.9% (H22年 国勢調 査)	目標	70 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	73% (R5年 度)	継続	2,300	3,980	増額	5,400	順調	「次世代」を対象とした事業に整理するため、事業の一部を「女性輝き！推進事業」に移管した。さらに、新たに意識啓発や理工系職業へのインターンシップの実施支援に取り組み、将来に向けた女性活躍の推進を図る。 【指標廃止の理由】 「次世代」を対象とする事業の内容に、指標が適さないため。	
							実績	70 %												
							達成率	100.0 %												
						ウーマンワーク カフェ北九州新 規利用者数 ※指標廃止	—	目標	4,000 人	3,340 人		3,500人 (R6年 度)								
							実績	3,030 人												
							達成率	75.8 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
II-3- (4)-① 平和の 尊さへ の理解 の促進	19	④	(仮称) 平和 資料館建設事 業	総務 課	戦後70年余りが 経過し、悲惨な戦 争の記憶の風化が 懸念され、戦争の 記憶を後世に伝え ることが重要と なっている。改め て、戦争の悲惨さ を市民に伝え、平 和の大切さ、命の 尊さを考えるきつ かけとするため、 新たに「(仮称) 平和資料館」の建 設に向けた取組み を行う。	(仮称) 平和資 料館の建設	—	目標	建築工事・ 展示製作等 の実施	建築工事・ 展示製作等 の実施	建築工事・ 外構工事・ 展示製作等 の実施	(仮称) 平和資 料館の 建設	継続	580,400	386,346	減額	29,000	順調	令和2年度に着工した建物 建築工事の進捗を適切に管理 することにより、令和3年度 に実施する外構工事等を着実 に進める。 また、展示製作及び展示手 法・施設運営の検討、施設の PRなど、開館準備を進め、令 和4年度の開館を目指す。	順調	令和4年度の開館に向け て、建築工事や外構工事、展 示製作等の進捗管理を適切に 行うとともに、設置条例や運 営方法の検討など、開館に係 る事務手続きを遅滞なく進め る必要がある。 また、資料館を活用した本 市の平和事業のあり方等につ いて、検討を進める必要があ る。
								実績	建設用地の 造成及び周 辺樹木の整 備												
								達成率	—												
	20	④	非核・平和推 進事業	総務 課	本市の平和に対 する基本的姿勢を 示す「北九州市非 核平和都市宣言」 に込められた平和 への願いを市民に 伝えるため、また、 悲惨な戦争の 記憶を風化させる ことなく次の世代 に伝えるため、事 業を実施するも の。	市民が平和の尊 さを理解し、共 有していくこと	—	目標	—	—	—	市民が 平和の 尊さを 理解す ること	継続	10,000	10,000	維持	6,400	順調	引き続き「嘉代子桜・親子 桜」の植樹のほか、「青少年 ピースフォーラム」（長崎市 主催）への小中高校生の派 遣、親子で平和の尊さを考え るための「長崎市平和派遣事 業」等を実施する。また、戦 争体験談を収集し、DVDや小 冊子にまとめるなど、戦争の 記憶を後世へと伝えていく取 り組みを進めていく。		
								実績	—												
								達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
Ⅲ-1- (3)-④ 高度情報社会への対応	21	⑩	デジタル市役所推進事業	情報政策課	北九州市官民データ活用推進基本条例（平29年12月制定）に基づく「北九州市官民データ活用推進計画」（令和元年6月策定）や「デジタル手続法」（令和元年5月公布）をふまえ、市民が様々な手続き等をWeb上で、ワンストップで行える「デジタル市役所」の構築を推進する。	オープンデータサイトアクセス数（月平均）	791件 (H29年度)	目標 4,500 件	実績 6,396 件	達成率 142.1 %	5,000件 (R3年度)	継続	10,000	43,400	増額	15,550	大変 順調	手続きをオンライン化するにあたり、令和2年度に電子申請サービスの刷新を行い、スマートフォンやタブレット、マイナンバーカードの電子署名を利用した本人認証に対応した。 今後、電子決済への対応等、利便性を高めていきつつ、利用者の認知度を高めるための案内・周知を行う。 現計画に基づく施策の進捗状況やICTの進展スピード、国の関連方針等を踏まえた次期計画を策定する。	順調	令和2年度に刷新した電子申請サービスをもとに、電子決済の導入など、市民にとってより使いやすい仕組みを整備し、行政手続きをオンラインで分かりやすく一元的に提供する「デジタル市役所」の構築を目指す。 また、官民データ活用推進計画を見直し、次期計画の策定を行う。
						電子申請件数	501,000件 (H29年度)	目標 516,000 件	実績 集計中	達成率 —	531,000件 (R3年度)									
Ⅲ-3- (3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	23	⑩	北九州市自治基本条例推進事業	総務課	本市の自治の基本的ルールを定めた「北九州市自治基本条例」（平成22年10月1日施行）の意義や理念などを多くの市民に理解してもらうため、周知等を行う。また、情報共有や住民参画の視点から業務を行い、条例の目指すまちづくりができるよう、職員向けの研修を行う。	市民が主役の自治（市民自治）の確立	—	目標 —	実績 —	達成率 —	—	継続	1,446	1,110	減額	4,650	順調	引き続き、市民向けの周知活動や職員に対する研修等を実施する。また、特に市政への関心が低い若い世代への周知を図るため、大学等への出前講演などに取り組む。	順調	市民が主役の自治（住民自治）の確立に向け、自治基本条例に対する理解を深め、市民の市政への参画を推進していくため、今後も条例の周知活動を継続実施していく。
						検討中	—	目標 検討中	実績 検討中	達成率 —	検討中									
						検討中	—	目標 —	実績 —	達成率 —	—									

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の 地域活 動への 参画促 進	24	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライ フ・バラン ス推進事 業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等の取組支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図る。	仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合	68.5% (R1年度)	目標 H25年度の水準より増加	実績 68.5 %	達成率 167.1 %	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	7,070	8,005	増額	10,700	大変 順調	仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が上昇するように、北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰の実施やワーク・ライフ・バランス推進に関する企業へのアドバイザー等の派遣、各種セミナーの開催等、企業への支援を継続して実施するとともに、事業の効果的なPRを図る。 また、本市全体の働き方改革の機運を高めるため、経営者・管理職等によるワールドカフェ等を開催する。	順調	「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合が今後もさらに上昇していくよう、企業への各種支援やイベント開催等を通じて、ワーク・ライフ・バランスに関する意識改革を一層推進するほか、働き方改革の機運を高めていく。また、事業の実施にあたっては、より多くの企業の関心を集めるよう効果的なPRを行う。	
Ⅳ-3-(2)-① 若年者 の就業 意識の 啓発や 能力開 発・就 職活動 への支 援	25	④ ⑤ ⑧ ⑩	次世代活躍 応援事 業	女性 活躍 推進 課	女性の就職促進を目指し、性別による固定的な価値観や生き方を払拭するため、学生の頃から「多様な働き方」などの啓発に取り組む。 また、女性の理工系分野への関心を高めることを目的とした女子中学生向けの理工学チャレンジ体験プログラムや、女子高校生向けの理工系職業インターシップ支援にも取り組む。	女性の就業率 (25～44歳)	65.9% (H22年 国勢調 査)	目標 70 %	実績 70 %	達成率 100.0 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	継続	2,300	3,980	増額	5,400	順調	「次世代」を対象とした事業に整理するため、事業の一部を「女性輝き！推進事業」に移管した。 さらに、新たに意識啓発や理工系職業へのインターシップの実施支援に取り組む、将来に向けた女性活躍の推進を図る。 【指標廃止の理由】 「次世代」を対象とする事業の内容に、指標が適さないため。	順調	「次世代」を対象とした事業を強化し、将来に向けての女性活躍を一層推進していく。
					ウーマンワーク カフェ北九州新 規利用者数 ※指標廃止	—	目標 4,000 人	実績 3,030 人	達成率 75.8 %	3,340 人	3,500人 (R6年 度)										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
IV-3-(2)-② 女性が活躍する産業都市づくりの推進	26	④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑪	男女共同参画センター管理運営事業	男女共同参画推進課	男女共同参画センター・ムーブにおいて、施設の運営をはじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就職・再就職に向けた就業・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進する。	性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合	26.7% (H29年度)	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	継続	339,251	251,653	減額	8,950	順調	順調	男女共同参画社会の形成の推進にあたって効果的な取組を実施するため、市民のニーズ等を踏まえながら講座などの事業内容の見直しに取り組む。 「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、R2年度末にレディースの用途廃止を行うにあたり、就職支援等一部の講座については、引き続きムーブやウーマンワークカフェ北九州において実施する。 市内企業等の「イクボス」推進については、市内企業及び市民に向けて「イクボス」及び平成29年8月に設立した「北九州イクボス同盟」のPRを行うことで認知度の向上を図り、当該同盟の拡大を目指すとともに、引き続き加盟企業の「イクボス」実践を支援していく。 女性の職業生活の拠点となる「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、働く女性のスキルアップやネットワーク化に取組むほか、女性が創業しやすい環境づくりや就職支援、子育てとの両立等、支援内容の充実化を図る。 また、「次世代」を対象にした意識啓発や体験事業を強化し、将来に向けての女性活躍を一層推進していく。
						実績	—				H29年度の水準より減少 (R4年度)								
						達成率	—												
						目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし										
女性による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合	69.7% (H29年度)	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	継続	11,455	10,250	減額	12,750	順調	順調	北九州市立男女共同参画センタームーブから、一部事業を移管する等、事業内容を見直し、より幅広い内容で女性活躍の支援に取り組む。 【指標廃止の理由】 事業の組み替えにより、当事業内で取り扱わなくなったため。						
実績	—				80% (R4年度)														
達成率	—																		
目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし																
27	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推進事業	女性活躍推進課	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、キャリアアップや就職、創業支援、子育てとの両立支援等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。	女性の就業率(25～44歳)	65.9% (H22年国勢調査)	目標	70%	単年度目標なし	単年度目標なし	継続	11,455	10,250	減額	12,750	順調	順調	北九州市立男女共同参画センタームーブから、一部事業を移管する等、事業内容を見直し、より幅広い内容で女性活躍の支援に取り組む。 【指標廃止の理由】 事業の組み替えにより、当事業内で取り扱わなくなったため。	
					実績	70%				73% (R5年度)									
					達成率	100.0%													
					目標	1,200社	単年度目標なし												
ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業(累計)	597社 (H26年度)	目標	1,474社	単年度目標なし		1,600社 (R6年度)													
※指標廃止		実績	1,474社																
達成率	122.8%																		

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標		
28	⑤ ⑧ ⑪	北九州イクボス同盟推進事業	女性活躍推進課	働く人の幸せ、生産性・業績の向上、人材確保に繋がり、その先にある「働きやすいまち北九州」を目指すために、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」を推進し、経営者・管理職の意識改革を図る。	仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合	目標		R1年度比増加	R1年度比増加		—	1,500	5,955	その他	10,700	—	北九州市内にイクボスをさらに普及させるための研修会等を引き続き実施する。また、市内企業及び市民に向けて「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」のPRを行うことで、認知度の向上を図り、同盟の拡大を目指す。なお、事業の組み換えのため、昨年度の事業費の比較が困難であり、増減欄を「その他」とする。					
						実績	68.5% (R1年度)			R1年度比増加 (R6年度)												
						達成率																
					ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業 (累計)	目標		単年度目標なし	単年度目標なし		1,600社 (R6年度)	※指標追加	597社 (H26年度)	実績	1,474 社					【指標追加の理由】 事業の組み替えにより、当事業内で取り扱うため。		
						達成率																
29	⑤ ⑧ ⑩	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課	女性の就職・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	女性の就業率 (25～44歳)	目標	70 %	単年度目標なし	単年度目標なし		継続	32,672	32,514	維持	7,950	順調	延べ利用者数が年々減少傾向にあり、利用者の掘り起こしが必要であることから、親子ふれあいルーム等、身近な場での相談会開催により不安や困りごとを気軽に相談できる機会を増やし、就職活動に向けた一歩を後押しするとともに、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知を図る。					
						実績	70 %			73% (R5年度)												
						達成率	100.0 %															
					ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	目標	4,000 人	3,340 人	3,380 人		3,500人 (R6年度)		—	実績	3,030 人				また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、求職活動が停滞傾向にあるため、ウーマンワークカフェ北九州開設5周年記念イベントの開催を通じてウーマンワークカフェ北九州の周知広報や、女性の就職支援に向けた取組の強化を行う。			
						達成率	75.8 %															

